

布田川断層帯

(谷川地区)
たにこう

見学再開

最大震度7を観測した平成28年熊本地震(マグニチュード7.3)の際、地表に現れた地面のずれは、県内で唯一、国の天然記念物に指定されています。中でも谷川地区では、民家の庭に現れた断層がほとんど地震直後のまま残っており、断層の真上にあった納屋の傾きから、地面のずれと建物被害の関係を知ることができます。

現在町では、この震災遺構を安全に見学できるよう保存・整備工事を実施しています。地震断層や被災建物の保存は、全国的にも例が少なく、試行錯誤を重ねているところです。

そこで、こうした文化財の保存整備に対する理解を広く深めることを目的に、見学を一部再開して整備事業の現場公開を行います。

なお、見学できる範囲や内容については、工事の進捗状況や安全面との兼ね合いをみながら更新していく予定です。

見学開始：7月15日(土)

見学時間：午前9時～午後5時

(年末年始を除く。変更する場合あり)



日常の暮らしを豊かにする
気軽に利用できる場所



【Photo Pick up】**1** 演奏を披露した益城中吹奏楽部の生徒たち **2** 町と災害協定を結んでいる(株)シェルパによる、町内産の米を使った防災食の試食 **3** プリランテまじきの皆さんが見事なハーモニーで4曲を熱唱 **4** 6月4日に製作したアイス。ウメの花をモチーフにしています